

県 広 報

とやま

特集/知事対談

TOYAMA PREFECTURAL REPORT





目標は国際大会 金メダル

技能五輪・広告美術職種金メダリスト 織田静江さん

昨年十一月に富山で開催された若者の技能の祭典「技能五輪全国大会」。その広告美術職種でみごと金メダルに輝いたのが、砺波市内の看板製作会社に勤務する織田静江さんです。

「とにかく制限時間以内に作品を仕上げるのに必死でしたね。」と語る織田さんは、メダルのことなど全く頭になかったといいます。「金メダルが決まった瞬間は、嬉しいの一言でした。他の皆さんの作品も個性的で素敵だったので、あまり自信はなかったんですけどね。」

大会では、クロス張りの技術、縮小見本を拡大する技術、色見本どおりの色彩を出す技術、そして自由にデザインを施す技術などが試され、単なるデザインセンスだけでなく、しっかりした装飾テクニクが要求されます。「クロスが浮かないようにしたり、乾いたときの変色を予測して色をつくり出すこと

に注意を払いました。満足している点は、自由にデザインするスペースで指定素材の特徴を活かしたことです。」と語られたラフトンという素材は、壁面に凹凸をつけることができるもの。これを用い、海、鳥、雲をイメージして立体的に装飾したそうです。「ぱっと見てそれと分かるようなものを描きました。それがかえって複雑なものにするよりよかったですね。」

職場では、商店などの看板製作のほかステージ装飾やイラストにも携わっているという織田さん。「自分の仕事を実際に形になり、お客さんに喜んでもらったときがいちばん嬉しいですね。今は仕事についていくのに精一杯ですが、これから経験を積んで信頼される職人さんになりたいですね。」金メダルを取ったことで、優れたものを作ろうという気持ち以前にも増して強まり、ある意味でいいプレッシャーになっているとのこと。「仕事をしたいときにいざばん楽しいので、特に何かをやりたいとは思いません。仕事で好きな事ができるのは幸せですね。」

織田さんは九月にフランスのリヨンで開催される技能五輪国際大会への出場を控えています。「国内大会とはスケールが違います。描くスペースの広さも桁外れ。出場するからには世界一を目指したいですが、そのためにはまず体力づくりから始めないと。」と微笑む織田さん。世界のひのき舞台での活躍がとても楽しみです。



立山信仰の精神世界を紹介 富山県立山博物館

レポーター:高岡短期大学 村井真紀子さん
(表紙の人)

遙望館のスクリーンが上がると雄大な立山の姿が……



秋のブナ林を再現



立山開山の舞台
"玉殿の窟"



"布橋灌頂会"の模型展示



立山信仰の内容を描いた曼荼羅

古来から神や仏が宿る聖なる地として信仰を集めてきた立山。今回私が訪れたのは、立山の自然と立山信仰の世界を紹介する施設、富山県立山博物館です。

さっそく、博物館の青木さんに三階の第一展示室を案内してもらいました。ここは、立山の自然と人間とのかわりをテーマにしたフロアです。まず目の前に現れるのが、秋のブナ林をリアルに再現したジオラマ。木々の間には、クマやタヌキも顔をのぞかせています。また、木材を利用した山道具や、熊の胆嚢を乾燥させた薬「熊胆」なども展示されていて、森がいかにかに人々の生活に恵みをもたらしてきたかを実感できます。

二階の第二展示室には、立山信仰にまつわる様々な模型や資料が展示されていますが、特に興味深かったのは、芦峯寺の娼堂にまつられる女性の神「おんばさま」信仰の模型展示です。女人禁制の山とされてきた立山では、江戸時代に「布橋灌頂会」という全国的にも稀な女性救済の儀式が行われたそうです。この儀式に参加した女性たちは、まず閻魔堂で自分の罪を反省して身を清めた後、白布を敷いた布橋を渡って娼堂に行き、そこから立山を遙かに拜んで自分が極楽世界に生まれ変われることを信じたそうです。

かつてこの儀式が行われた地には、体験型映像ホール「遙望館」が建っています。ここでは大型スクリーンと最新の音響装置によって、当時の儀式を現代的に追体験できるのです。約四分の上映が終わるとスクリーンが上がり、窓の外には当時と変わらない立山の姿が現れるという演出は、私たちが感動へと導くことでしよう。みなさんもこの博物館で、立山を再発見してみませんか。

●問合せ 立山博物館 ☎0764・81・216

CONTENTS

2月号もくじ

表紙	撮影/赤羽仁諭(富山県写真家協会会員)	1
2	とやま遊学感/富山県立山博物館	2
1	ひとアズとやま/織田静江さん (技能五輪・広告美術職種金メダリスト)	1
6	特集/知事対談 トピックス/	6
8	全国高校総体(スキー大会) PINUP TOYAMA 写真/松田 勉(富山県写真家協会会員) 詩/山本哲也(富山現代詩人会会員)	8
10	ふるさとみてある記(井口村)	10
12	①彩華グループ ②小林美代子さん(ミトマト栽培) ③柳田邦男さん	12
13	エッセイ/佐々木光三 (福光町美術館長)	13
14	富山県における主要プロジェクト 全国都市緑化とやまフェア	14
16	県からのお知らせ	16
17	暮らしのアドバイス	17
18	とやまの祭事記/安居寺節分会 (福野町)	18

『キトキト 富山の食べ物 談義』

富山県の恵まれた自然と変化に富んだ地形は、豊かな海の幸、山の幸、野の幸をもたらしてくれまます。また、富山ならではの自然風土が培ってきた優れた加工食品も数多く生みだされています。

今回は、富山女子短期大学教授の塩原紘栄さんと富山市内でフランス料理店を経営している小西謙造さんをゲストにお迎えし、「キトキト富山の食べ物談義」と題して、富山の食文化や食生活、また素晴らしい食材などについて中沖知事と語りあつていただきました。

- 富山県知事
中沖 豊
- 富山女子短期大学教授
塩原紘栄
- 全日本司厨士協会富山県本部理事長
小西謙造
- 司会
長谷川綾子 (チューリップテレビ)

この対談は、1月1日にチューリップテレビで放映した内容を要約したものです。



富山県知事
中沖 豊

食材の宝庫、富山

長谷川 富山の食を語る際に誇れることは、素材だと思っただけですがいかがでしょうか。

知事 富山県は三千メートル級の立山連峰から水深千メートルを超える「不思議の海」富山湾まで素晴らしい自然に恵まれており、その自然はたくさん山の幸、海の幸を私たちにもたらしてくれます。また、山と海の間には大小三百余の川が流れ、その清らかな水は富山平野を潤し、おいしいコシヒカリがたくさんとれます。まさに富山県はキトキトの味覚の王国といえます。

私は今日お見えになって小西さんのお店を利用していただき、その都度、幸福感を味わっているんですが、小西さんは富山の新鮮で豊富な素材をどのように活かしておられますか。

小西 富山の素材といえば、ホタルイカ、シラエビ、イワガキ、ズワイガニ、マダラなどをまず思い浮かべます。その他、クロダイやヒラメなどの



富山女子短期大学教授
塩原紘栄
昭和15年富山市生まれ。現在、富山女子短期大学生活科学科で食物学を教える。食生活論や食文化の研究。著書に「聞き書 富山の食事」(共著、農文協)、「トータルクッキング」(共著、講談社)などがあるほか、暮らしに関する論文など多数。

塩原 主食の米について見てみますと、富山県人は、とにかく米を食べ物の頂点に置いて、一生懸命お米をつくること、お米でおいしい食事をすることにずっとこだわってきたといえます。極端な話、ご飯を口にできない、お客さんに出せないことが、恥ずかしいとか情けないとか、そのくらいの思いを持ってたんじゃありませんか。

知事 昨年のインターハイでは、全国から集まった若い高校生たちに、富山のコシヒカリを腹一杯食べていただきました。非常に好評でした。また、私は東京の知人への贈答品として富山のコシヒカリを送りますが、水によって味が変わるといけないので、富山の名水と一緒に送っています。大変おいしかったとよくいわれますよ。

長谷川 水、米とくれば、次にくるのはお酒ということになりますか……。

知事 富山には、米と名水でつくられたおいしい地酒がたくさんあることは、よく知られています。酒には肴(さかな)が付きものですが、先程も話に出たシラエビなどは大変おいしく、故池田弥三郎先生などは、シラエビのかき揚げは日本一の味ではないかとおっしゃっています。ホタルイカのいかそうめんなども、その味は天下一品でしょうね。

塩原 肴の語源ですけど、酒の菜(さい)つまり酒のおかずからきているそうです。やはり、お酒との相性という点では、魚が一番でしょうね。今こそ生の魚を遠くへ輸送することが可能になりましたが、昭和初期の頃は、少しでも海から離れると、魚は干物や塩物でしか食べられませんでした。鮮魚はせいぜいイワシ、タラなどで、お刺身は一年に何度か特別の日でないと口にできない食べ物だったんです。ちなみに今は、世帯当たりのお刺身の盛り合わせの消費量は、富山が群を抜いてトップなんです。

知事 刺身はもちろんです。魚の加工品がまたいいですね。富山市で昨年開催された全国かまぼこ品評会では、農林水産大臣賞六品のうち県内の商品が三点も選ばれたんですよ。その他、黒作りですとか、駅弁で有名な鱈の寿司も忘れてはならない伝統食品ですね。富山の水産業の特色というのには優れた加工技術だという人もいらっしゃるんですよ。

富山の食文化

長谷川 キトキトの素材は富山県民の自慢でもあるわけですが、塩原先生は歴史的に見て富山県人の食へのこだわりについてどうお考えですか。

塩原 魚類を締まっていた状態です。これからは料理など素材は買いません。とれたての素材が私に「こう料理してほしい」と語りかけてくるんですよ。私の店には、県外のお客さんがよくいらつしやるんですが、富山のお店だから富山の素材を使うのではなく、富山の素材はおいしいから使っているんです。いい素材を用いて料理をつくれることに、毎日喜びを感じていますよ。

知事 とてもいい話ですね。これからは料理などを通じて、富山のPRをよろしくお願いします。



全日本司厨士協会
富山県本部理事長
小西謙造

昭和22年富山市生まれ。大学在学中に司厨士協会直営のレストランワールド(六本木)で修行を積み、昭和44年に富山市内にフランス料理店を開店、現在に至る。また、来年度に行われる世界料理オリンピック日本代表チームの監督でもある。

食生活への提言

長谷川 ところで、小西さんは料理の指導



◀ヘルシーメニュー集
「おいしい和」



をなさっているようですが、料理のプロとしてどういった点に重きを置いていらっしゃいますか。

小西 フランス料理といっても何も高級なものばかりとは限りません。普通のお魚屋さんで手に入る鮮度のいい素材と、八百屋さんで買える素材を使い、フランスの普通の家庭で食べるものも講習会で教えています。基本的に水がいいと、何を料理してもおいしくできるんです。最近若手人の好みも変わってきていて、バター焼きやオリーブオイルを使った料理などが好まれます。醤油とかお刺身の料理ばかりではなく、いろんな料理法が少しずつでも広がったら、富山の街がもっと楽しくなるんじゃないでしょうか。

長谷川 大変参考になりました。今、若い方の話ができましたが、塩原先生は実際に短大で若い人たちと接してみて、最近の若者の食生活をどうお考えですか。

塩原 「あそこのお店の何々はおいしい」などといったことは本当によく知っていますね。最近



長谷川 小西さんはいろいろな食事の場面を見てきていらっしゃるようですが、いかがですか。

小西 社会のスピードがだんだん速くなり、食事にあまり時間を使えないということもあるでしょう。私の場合、どうしてもヨーロッパの食事と比較してしまうんですが、なぜこんなにも日本人はせっかちなんでしょうかと思うことがありますね。例えば、よくお客様に「どのくらいの時間で食事ができますか。」と聞かれるんですが、「何時間くらい食事を楽しめませんか。」と聞くような心のゆとりが欲しいと思います。

食文化を通じたPR

知事 お二人のお話を聞いてみると、食事にはやはり雰囲気大切だということを感じますね。私は、食は文化だと思います。そしてその文化は、恵まれた自然環境から生まれてくるものだと思います。

は、おいしいと聞けば食べ歩いて、食事をフアッシュョン感覚で捉えている傾向があります。ただ、趣向を優先しすぎて基本的な栄養などをつい忘れがちになっているのではないのでしょうか。食生活の大切さについては、学内で教えているつもりなんですが、なかなか浸透しないというのが実情ですね。

長谷川 若い方の食に対する意識改革なども、県として取り組んでいくべきですね。

知事 食事については、「医食同源」とか「薬食同源」という言葉があります。本来いい薬と食というの源が同じで、非常に大事だという意味です。最近では、多種多様な食品が数多く出回っており、確かに平均的な食生活は向上しました。みんな贅沢になりましたよ。しかしその反面、地域差、個人差などがしばしば指摘されます。県では、地域における食生活の改善のため、約五千名近くの食生活改善推進員の方々に、一生懸命努力していただいております。また、県と協議会との間でヘルシーメニュー集「おいしい和」という本を作りました。この本は、健康的なメニューを分かりやすく紹介したもので、一般成人向け、高齢者向け、若年層向けの三種類からなっています。ぜひこれをご利用いただいて、自分の体に適したおいしい料理をつくってもらいたいと思います。

また、最近よくカルシウム不足が叫ばれています。これからは骨太の人間をつくらなくてはなりません。男の子が腰が痛くなるなんてもつてのほか。女性の皆さんも赤ちゃんを産むには、骨盤が大きくなるといけませんよ。県の食品研究所では、牛や豚の骨骨を活用する特許を取っているんです。非常に固いため捨てられていたこれらの骨を酸で柔らかくしたうえでペースト状にし

小西 文化といえば、私は美術品に触れるのが大好きなので、フランスへ行く土地土地の美術館巡りなどをしています。そこに置いてある図録などに、TOYAMA MUSEUM OF MODERN ART(富山県立近代美術館)が出ています。そんな時は、私はこの街の人間なんだと自慢しますね。

長谷川 本日にこんな素晴らしい富山をどんどんPRしていかなければいけませんね。知事は、富山の食文化をどのようにPRしていきますか。

知事 これまで「いきいき富山観光キャンペーン」を積極的に展開し、物産展などを通じて富山の食についてPRしてきたつもりです。全国食文化交流プラザというイベントが毎年行われているんですが、近い将来に富山でそれを開催してはどうかと思っています。また、県では様々な食品の開発についても積極的に支援しています。その中には「おかゆっこ」や「柿酢」などのように、成功した商品も数多くあります。その他、県水産試験場では富山湾の深層水をくみ上げ、魚の増養殖の研究を行います。また、深層水を用いた健康飲料などの開発にも取り組んでいきたいと思っています。

長谷川 今後どんどんおいしいものが誕生しそうですね。最後に、皆さんにこれからの抱負をお伺いします。

塩原 私は、学内でつくっている「暮らし研究会」という会で、今後も富山の食生活の研究を続けていきたいと思っています。また、県民カレッジで行う「富山食の風土記」という放送講座にも携わって

た商品も出ています。学校給食などにも大いに使ってもらいたいですね。

ゆとりのある食卓を

長谷川 ところで、昔と比べると食事形態もどんどん変わってきましたが、塩原さんはどうお考えですか。

塩原 最近は一入一人の生活のリズムが多様化し、子供でさえも一人で食事をしなければならぬケースが増えています。食事は家庭の団場の場、コミュニケーションの場としてとても大切です。そのような場を努力しなければつくりにくいようになってきているのは残念ですが、何とか家族そろって一緒に食事をする楽しさを再発見してほしいですね。



ります。皆様にはぜひご覧になっていただければと思います。それから「聞き書 富山の食事」を執筆した際に、「富山の食を考える懇話会」というのをつくりましたが、ここで食に関わるいろんな分野の方々の交流を図り、多様な方面から食を研究していきたいと思っています。

小西 来年の九月五日からベルリンで行われる一九九六年世界料理オリンピックで、日本チームの監督を務めることになっています。これから、どういうテーマで料理をつくるかなど、決めるべきことがたくさんあります。この大会は、富山をダイレクトに世界にPRできるいいチャンスだと思っています。富山の恵まれた海の幸、山の幸を、料理を通じて何とかPRしたいですね。富山独特の素材が現地に持ち込めるようなら、シラエビやホタルイカなども料理にしてお出ししたいものです。

知事 ぜひ、頑張って金メダルを取ってください。応援しております。

さて、富山県では、世界に開かれ貢献する果づくりを進めています。特に、環日本海時代を迎えている今、富山はその中核拠点として発展しなければならぬと考えています。

また、これから「とやま健康村(仮称)」において国際伝統医学センターなどもつくっていく予定ですが、私は薬の県でもある富山県を、世界の健康のふるさとにしたいという夢を持っています。

富山県を文字通り富の山とある県、それも心の富も山とある県にできるよう、今年も県民の皆様と力をあわせて頑張っていきたいと思っています。

長谷川 今日、どうもありがとうございました。

いよいよ開幕 全国高等学校総合体育大会 第44回全国高等学校スキー大会

昨年七月三十一日から八月二十四日までの二十五日間に渡って開催された富山インターハイ夏季大会。県勢の活躍をはじめ、高校生たちによる一人一役運動など、大変な盛り上がりを見せたのは、記憶に新しいところだ。

さて、インターハイの冬季大会である「第四十四回全国高等学校スキー大会」が、立山山麓スキー場一帯を会場として、二月五日から九日までの五日間にわたって開催されます。インターハイの夏・冬大会が同一都道府県で開催されるのは、昭和六十二年の北海道大会以来になります。

大会には、役員、選手など合わせて三千人余りが参加する予定。夏季大会に引き続き、全国から集う高校生たちによる白熱した競技が繰り広げられることでしょう。



▲宝賀副知事らによるテープカット

富山県スキージャンプ場 (立山ジャンツエ)が竣工

開幕に先立ち一月九日、本大会のジャンプ競技の会場となる富山県スキージャンプ場(立山ジャンツエ)の竣工式が関係者約七十名の出席のもと行われました。これは、昭和四十九年の大山国体の際建設されたジャンプ台を、ノーマルヒル用の公認規格に改修したもので、スタートハウスや電光掲示板も整備され、総工費は六億九千六百万円。

式では主催者側を代表して宝賀副知事が、「今後、国内トップレベルに飛躍する選手がここから誕生することを期待する」とあいさつ。引き続き行われた記念行事では、全日本ナショナルチームに所属する山本直銳選手他の模範ジャンプが行われる予定でしたが、強風のためランディングパールの滑走のみとなりました。しかし大会では高校生たちの素晴らしいジャンプが見られることでしょう。

立山にえがけ大きく君の青春



高校生による活動

本大会に備え、地元の高校では様々な活動が繰り広げられています。

雄山高校ではこれまで、校内推進ニュースを発行し、校内および立山町・大山町へ配布して、大会の開催機運を高めてきました。大会期間中は、販売コーナーなどでボランティア活動も行います。

中央農業高校では、生徒自身がワックススクレパー(スキー板のワックス削り器)をデザイン・製作し、それに歓迎・激励のメッセージを添えて、出場選手に贈呈します。また、生徒が丹精込めて栽培・収穫した野菜をたっぷり入れた汁をつくり、選手や役員に振る舞う「大山なべコーナー」を設置することになっています。



▲ワックススクレパー (中央農業高校デザイン・製作)

雄山高校の▶校内推進ニュース

- 大会期日
- (1) 開会式 平成7年2月5日(日) 14時00分
 - (2) 競技 平成7年2月6日(月)～2月9日(木)
 - (3) 閉会式 平成7年2月9日(木) 15時00分
- 会場
- (1) 開会式 大山町極楽坂スキー場駐車場特設会場
 - (2) 競技 ジャイアントスラローム 極楽坂スキー場スラローム
 - クロスカントリー 粟巣野平クロスカントリーコース
 - ジャンプ 富山県スキージャンプ場

日程

月日	時刻	競技内容	会場
2月5日(日)	9:00	監督会議	立山国際ホテル
	10:00	ジャンプ公開練習	富山県スキージャンプ場
	14:00	開会式	極楽坂スキー場駐車場
2月6日(月)	9:30	男子ジャイアントスラローム	極楽坂アルペンコース
	10:00	コンバインドジャンプ	富山県スキージャンプ場
	10:00	男子クロスカントリー10km(クラシカル)	粟巣野平クロスカントリーコース
2月7日(火)	12:30	女子クロスカントリー5km(クラシカル)	粟巣野平クロスカントリーコース
	9:30	女子ジャイアントスラローム	極楽坂アルペンコース
2月8日(水)	10:00	コンバインドクロスカントリー15km(フリー)	粟巣野平クロスカントリーコース
	12:00	女子クロスカントリー10km(フリー)	粟巣野平クロスカントリーコース
	9:30	男子スラローム	極楽坂アルペンコース
2月9日(木)	10:00	スペシャルジャンプ	富山県スキージャンプ場
	10:00	男子クロスカントリー15km(クラシカル)	粟巣野平クロスカントリーコース
	9:00	女子スラローム	極楽坂アルペンコース
	9:00	女子リレー 5km×3人	粟巣野平クロスカントリーコース
	10:30	男子リレー 10km×4人	粟巣野平クロスカントリーコース
15:00	閉会式	立山国際ホテル	

県政の動き

H6. 12月11日～H7. 1月10日

- 12月17日 立山山麓スキー場合同オープニングフェスティバル
- 12月18日 ねいの里行事「春の七草をさがそう」
- 12月20日 ふくろう部隊出動式
- 12月22日 全国地方分権推進研究協議会ブロック会議
- 1月4日 こどもみらい館行事 みんなでお正月(～22日)
- 1月9日 富山県スキージャンプ場(立山ジャンツエ)改修工事竣工式
- 1月10日 富山県高等学校総合体育大会 スキー競技会(～13日)

岩は
舞い
立ち砕けて
片々となり
星屑を沈め
記憶の淵にねむる
いましも
膚は日の影に濡れて
むろむろ
室室に
水
の
声
を
聴
く



井口村

ふ・る・さ・と
み・て・あ・る・記

一枚一枚に 思いを染め込む

彩華グループ



▲藤井照子さん

「彩華グループ」のみなさん

井口村の村花である椿。その椿を利用して村おこしができないだろうかとの思いから、平成四年に藤井照子さんをはじめ女性十名で結成されたのが、「彩華グループ」だ。

「このグループは、蠟染めでハンカチに椿を染め抜いているんです。」と先生役の藤井さん。ちなみに、蠟染めとは、蠟で布に絵を描き、それを染めると、蠟の部分だけが色に染まらず残るといふものだ。

「蠟が付着していないところに染料が入り込み、椿の葉脈などが自然に表現されるのが蠟染めの魅力。また、染料をいろいろな組み合わせで配合し、独特な色あいを出すのも楽しいですよ」と藤井さん。しかし、模様や色あいは、染め上がるまで分からないため、なかなか自分たちの思うような作品にならないことも多いとか。

これらの作品は、村の椿まつりで郷土の土

モチーフは「人間」です

柳田邦男さん



▲二科展特選の作品「記憶の中1」



◀柳田さんのアトリエ

「中学生の頃までは特に絵を描くことが好きというわけではなかったんですけどね」と語るのは、去年、二科展の絵画部で特選に選ばれた柳田邦男さん。

「僕は水彩画ですら厚く塗ることが好きだったんです。学校の先生にも、それは油絵の技法だと言われたりしていました」と話す柳田さんは、高校一年の時から自己流で油絵を始める。

以来、時代の移り変りとともに描き方も変わっていくものの、一貫して「人間」をモチーフに作品を描き続けている。「私たちがとって人間が一番身近なものでありながら、広くて深い存在なんです。例えて言うとなんか深い存在なの。一つの頂に立つてもそこにはまた別の光景が広がりますよね。それと同じで、人間のある一面を描ききっても、そこにはまた描くべき別の世界が広がりますよ」

柳田さんは現在、高校で教鞭を取っている。「仕事は忙しいんですがキャンパスには一時間でも長く向っていきたいですね。」と語る柳田さん。今後も、あらゆる表現方法で「人間」を追求し続けていけるだろう。



井口村の概要

・人口 1,351人 ・面積 26km² (平成6年12月1日現在)

広々とした砺波平野にはぐくまれた人情あふれる村で、農業を基幹産業としている。三月には「いのち椿まつり」が村の中央で、五月には赤祖父湖で「ふれあいヘラブナ釣り大会」が行われ大勢の人で賑わう。

セールスポイントは、サクツとした歯ごたえ

小林美代子さん (ミニトマト栽培)



▲ハウス内で作業する小林さん

野菜サラダに彩りを添えるミニトマト。小林美代子さんは、その通年栽培に二年前から取り組んでいる。

農園にある四棟のビニールハウスには、ミニトマトを植えた鉢が整然と並んでいる。「鉢植えにした理由は、液肥で供給される養分を吸収しやすいことに加え、水はけが良いため根腐れを起こしにくいからなんです」と小林さんは説明してくれた。

また特筆すべきことは、国産ではなくイスラエル産の種を用いている点である。これは実が国産に比べ甘く、皮が厚いため噛みごたえがあるためだという。「収穫したミニトマトを村の小中学校の給食用として提供したり、口コミで広まった方々に販売して喜んでくれています。ごたえがあつておいしい」となかなか好評ですね」と小林さんは目を細める。

ただ、この栽培方法にはまだまだ改良すべき点があるという。例えば土壌の改良。「いい作物は良い土で育つというでしょう。特に鉢植え栽培は土が命。そのためいろいろな土を配合して、高い収穫率を上げられるように努力しています。」

小林さんの心は、熟したミニトマトのように赤く燃えている。



▲柳田邦男さん

石崎光瑤画伯のこと

福光美術館館長

佐々木 光三

福光美術館は町の西郊、桑山(クワヤマ)・最近(最近)は華山(カノ)とよ、近(近)くにあり、抜群(抜群)の自然環境と、ゆつたりと落ちついた施設(平成六年第二十五回富山県建築賞入賞)で、開館以来多数の方々にお訪ね頂いている。

町に過ぎたるもの、などといわれては、いささか首をひねりもするが、もちろん他の施設を優先すべきであるとか、センスの欠如、アフターケアの充実等々、御批判、或いは御心配からの御発言も数々承っている。これらの御助言は厳しく受けとめて、日々創意と努力を重ね、今後の在り方によってお応えしていきたい。

さて、福光美術館では、町ゆかりの三人の作家の作品を常時展示している。石崎光瑤と松村秀太郎は当町の出身であり、棟方志功は戦時中から戦後の数年間、当町に居住して数々の名品を制作した。

石崎光瑤は明治の終わりから大正、昭和にかけて活躍した日本画家。京都の竹内栖鳳門下の逸材である。文展帝展に連続特選となった時期の絢爛たる画風から、晩年の静謐な花鳥表現に独特の高い境地を開かれた。本館は完成された諸作品の他に下絵、スケッチなど四五〇点をも所蔵展示しているが、そのものの真を写した筆力に強い感銘を受ける人が多い。

昭和初期には本県の日本画壇の総帥―当時の新聞には「御大将」などある―的な存在であった。しかしその後急速に深まった戦時色とは、性格的

にも全く合わなかったはずで、それだけに戦後の混乱がまだ収まらない昭和二十二年三月、六十三歳で逝去されたのは残念の極みである。

画伯は少年期から、絵画と自然―花鳥と山―を愛し、また自然への没入を欣求し、追求し続けられた。売名、虚栄、或いは党派脱的態度で一貫された人柄でもある。

山岳家としての画伯については、明治四十二年の剣登頂の記録が有名であるが、二回に及ぶインド旅行(大正五・六年及び昭和八年)では両三度ヒマラヤ等への山行を試みている。

最初からただ一人で、数十名のシエルパ等を同行した五・六千メートル級の写生行であり、時代と社会情勢、準備期間や装備なども考え合わせると、画伯の知的、意志的、体力的な卓越性には感嘆を禁じえない。また最初の山行については、スケッチ帖のほか紀行と写真を「印度掘窟精華」なる壁画写真集に併せて刊行されており、先駆的な(山岳)写真家でもあったことが窺える。

優れた先人を同郷者に持つ誇りは、その事績や生涯が、地元でさえも分り難くはなっていく遺憾に通じる。当美術館の活動を通じて、大方の認識への一助ともなれば幸いである。



▶インド旅行中の石崎光瑤(バルガム溪谷付近)



私たち一人ひとりが緑の大切さを知るとともに、守り育てるための知識を得る場として、また都市緑化を積極的に推進するための契機として、昭和五十八年度から全国各都市で開催されている全国都市緑化フェア。平成八年には、「まち・ひと・くらし―花ある人を育てる緑―」を開催テーマに、いよいよ富山県で開催されます。

実行委員会では、花と緑に恵まれた富山らしい特色のあるフェアにするともに、将来にわたって開催理念と成果が引き継がれていくよう、開催準備を進めています。

平成8年開催 第13回全国都市緑化とやまフェア 彩りとやま緑化祭'96

会期/平成8年4月20日(土)～9月1日(日)

主催会場の会期とテーマ

県内に6つの主催会場を設け、各会場の花や緑が最も美しい時期を会期とし、これらを順次引き継ぐリレー式により全体の会期を形成します。また、利用者がまさに花を求めて移動するみつばちのように、季節に応じて次から次へと花と緑を楽しめるよう各会場ごとにテーマを設けて展示やイベントの内容に特色を持たせるとともに、全体としてストーリー性のある展開を図ります。

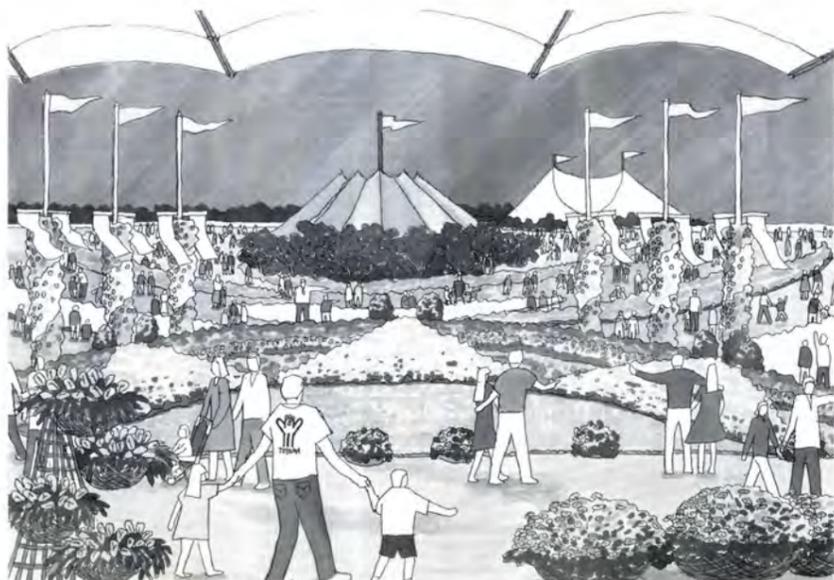
会場 テーマ	4月	5月	6月	7月	8月	9月
砺波チューリップ公園 みどりと産業	4/20(土) 開会式	5/6(月)			8/10(土)	8/31(日)
富山県中央植物園 みどりと科学		4/26(金)	6/14(金)			
県民公園太閤山ランド みどりとアート			6/15(土)	7/11(木)		
県民公園頼成の森 みどりと自然			6/21(金)	6/30(日)		
高岡古城公園 みどりと文化				7/12(金)		9/1(日)
高岡おとぎの森公園 みどりと遊び				7/12(金)		9/1(日)



シンボルマーク
制作者 永井一正氏
(グラフィックデザイナー)
マークは、青々と繁った木と花をイメージしたのですが、白抜きの部分は、果花であるチューリップをも表わしています。



マスケットマーク
制作者 福田繁雄氏
(グラフィックデザイナー)
マークは、元気いっばいの緑の発芽、若芽、開花などのイメージをシンプルなアイキャッチャーとして表わしています。
なお、愛称は、全国から応募があった1万通余りの中から問もなく決定されます。お楽しみに。



高岡おとぎの森公園会場のイメージ図

**暴力団犯罪の根絶と
 市民社会からの暴力団排除**

最近、企業幹部など市民を標的としたけん銃使用など、暴力団は市民や企業にとって大きな脅威となつてい
 ます。
 警察では、暴力団の壊滅に向け、銃器取締りや暴力団
 の資金源となつて各種犯罪の取締りを重点に取
 り組んでいます。
 県民の皆さんも、一人ひとりが、

- 暴力団をおそれない
- 暴力団にお金を出さない
- 暴力団を利用しない

の「暴力団追放三不運動」を実践し、暴力団犯罪のな
 い安全で住みよい街づくりに協力しましょう。また、暴
 力団から被害を受けたたり暴力団の犯罪を見たり聞い
 たりした時は、勇気をもって最寄りの警察署や暴力追放運
 動推進センター（☎0764-31-8930）に連絡しま
 しょう。

確定申告はお早め！

申告期限間近になると税務署の窓口が大変混み合
 います。確定申告は早めに済ませましょう。（申告書をご自
 分で記載された方は、郵送でも結構です。）
 所得税、贈与税、住民税、個人事業税の申告期限は「3
 月15日」です。
 ◎所得税の確定申告をしなければならない方は、
 ①事業を営んでいる方や不動産を売った方などで、こ
 れらの所得が所得控除の合計額を超える方
 ②サラリーマンで、
 ア、給与の年収が1,500万円を超える方
 イ、給与所得や退職所得以外の所得の合計額が20万

お知らせ

冬の造形美「雪美の庭」開催中

富山の冬を美しく彩る、「雪美の庭」を県庁前公園を会
 場として開催しています。
 雪囲い・雪吊り等伝統的な造園技術を応用した冬の芸
 術的造形は、朝日に映え、夜間のライトアップに浮かび
 上がり、冬の公園の美しさを再発見させてくれることと
 しよう。みなさんも是非お立ち寄り下さい。
 会 期 平成7年1月中旬～2月末
 会 場 県庁前公園
 問合せ 県庁都市計画課
 ☎0764-44-3347

「95富山の美術」開催

この展覧会は、富山の新たな美術の動向をとらえよう
 とする継続企画展です。富山県内に在住、もしくは富山県
 出身、または富山にかかわりの深い作家のなかから、19作
 家を選考し未発表作品を含む最新作を展示します。

- 出品作家
- 安達博文、石田歩、尾長良範、川井昭夫
 - 清川恵美、富田潤、野上祇麿、橋本文良
 - 松原賢、柳原幸子、荒井明浩、岡部俊彦
 - 笠原鉄明、加治晋、菅岡敬、吉江庄蔵
 - 米林雄一、伊藤賢治、ウラジミル・クライン
- 会 期 2月18日(土)～3月26日(日)

みなさんの相談窓口

- 県政について
 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
 ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
 ☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
 ☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
 ☎(0763)33-5151(代)
- 物価ダイヤル
 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話
 ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については
 消費生活センター
 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
 (一般相談は) ☎(0764)32-9233
 (金融相談は) ☎(0764)32-3252
 消費生活センター高岡支所
 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については
 富山県交通事故相談所東別館1階
 ☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番相談
 家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談に
 も応じます。☎(0764)42-0110
- シルバー110番
 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者
 総合相談センター
 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
 ☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談
 子育てに關して心配や悩みはありませんか。どんな
 ことでもお気軽にお電話ください。
 ☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室)

積雪・凍結時は安全運転で

冬道は、積雪や凍結など予想できない悪条件が待ち構
 えています。スリップ事故、追突事故の多いこの時期、
 次のことに気をつけましょう。
 ○急ブレーキ・急加速・急ハンドルなど急のつく運転は
 やめましょう。(ノー・三急)
 ○走行中は、速度は控えめにしましょう。また、カーブ
 の手前では十分減速しましょう。
 ○雪道では、制動距離が伸びます。車間距離は、十分と
 りましょう。
 ○シートベルトは、命綱です。同乗車を含め、必ず着用
 しましょう。
 ○発進時のアクセルの踏みすぎは、空転スリップを招き
 ます。ゆっくり加速し、静かに発進しましょう。

雇用継続給付制度がスタート

雇用保険法の改正により、平成7年4月1日から高年
 齢雇用継続給付制度及び育児休業給付制度が施行され
 ます。
 ◎企画展会期中は、映画会や解説会などイベントもあり
 ます。
 問合せ 富山県立近代美術館 ☎0764-21-7111

立山博物館「映像&トーク」開催

立山博物館では、左記のとおり映像&トーク「高峰ナ
 ンガバルバット頂上に立つ」を開催します。今回は、1
 円を超える方
 ウ、給与を2か所以上からもらっている方などです。
 ◎贈与税の申告をしなければならない方は、個人から贈
 与を受けた財産の合計額が60万円を超える方などで
 す。
 ◎住民税、個人事業税については、所得税の確定申告書
 を税務署へ提出されれば、市町村、県への申告は不要
 となります。
 消費税(個人事業者)の
 申告期限は「3月31日」です。
 ◎消費税の申告をしなければならない方は、個人で事業
 を営んでいる方で、
 ①前々年の課税売上高が3,000万円を超える方
 ②課税事業者の選択をしている方です。
 ○なお、手続きその他詳しいことは、最寄りの税務署・
 県税事務所でご相談ください。

文化大使募集!

国民文化祭とやま'96のPR活動などをしていただき
 「文化大使」を募集しています。
 ●応募資格 県内在住の18歳以上の女性で、平成8年秋
 の文化祭終了まで月5日間程度PR活動に参加でき、
 文化的特技をお持ちの方。
 ●応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入、写真を
 同封のうえ応募
 ●募集人数 6名程度
 ●募集締切 2月28日(当日消印有効)
 ●賞 10万円の旅行券と記念品
 ●応募・問合せ 〒930 富山市舟橋北町4-19
 森林水産会館内
 第11回国民文化祭富山県実行委員会事務局
 文化大使募集係 ☎0764-44-2183

第2回伝統医学セミナーの開催

県では、中国医学をはじめとした伝統医学やその健康
 法を紹介するため、平成6年度第2回伝統医学セミナー
 を開催します。
 日 時 平成7年2月14日(火)
 午後3時～4時30分
 場 所 ポルファートとやま4階「琉水」
 講 師 寺澤捷年
 演 題 (富山医科大学医学部教授)
 「健康と漢方について」
 参加費 無料
 問合せ 県庁健康村建設室
 ☎0764-44-9657

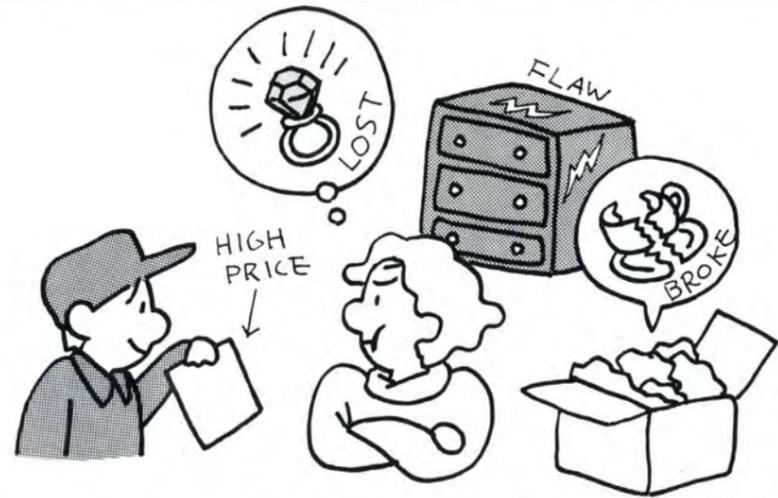
県からのホットニュース

- テレビ広報
 ■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:30～9:45
 「志の輔のふるさとトーク」
 ■富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30
 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」
 ■北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30
 「こんにちは富山県です」
 2/5 冬のインターハイ開幕
 2/12 夢膨らむ工業技術
 2/19 私たちのふるさとづくり ～利賀村～
 2/26 立山信仰の世界
- ラジオ広報
 ■FMとやま「ふれあいホットライン」
 県内各地からホットな話題をクリアなサウンド
 でおとどけます。
 毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
- 新聞広報
 ■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
 毎月第2、最終土曜日
 「県からのお知らせ」

3月街頭献血日程

日 曜 日	献血場所	時間
5 日	小杉町「バスコ」 ショッピングセンター前	10:00～16:00
8 水	井波町役場前	12:30～16:30
12 日	砺波市「となみプラザ」 ショッピングセンター前	10:00～16:00
15 水	魚津市役所前	9:00～16:00
19 日	富山西武デパート前	10:00～16:00
21 火	八尾町「ララエイト」 ショッピングセンター前	10:00～16:00
27 金	氷見市「ハッピータウン氷見」 ショッピングセンター前	10:00～16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・
 テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
 ◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第
 4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けていま
 す。(受付時間9:00～16:45)
 富山県赤十字血液センター
 富山市飯野26-1 TEL (0764) 51-5555



引越しを頼むときは 注意するポイント

Q 息子が、今春、県外の大学に入学することになりました。引越しを業者に頼もうと思いますが、どのような点に注意すればよいですか？

A 引越しに関する相談で最も多いのは、「大事なタンスに傷がついた」、「食器が割れていた」、「貴金属類がなくなっていた」など、荷物に関するトラブルです。

運輸省が定めた引越運送約款では、荷物の破損や紛失が、運転手や作業員のミスによる場合には、業者側が損害賠償の責任を負うことになっています。ただし、荷物を受け取った日から三か月以内に申し出ないと損害賠償請求権は消滅します。ですから、引越し後の確認はできるだけ早いうちに行いましょう。

例外として、運送上特に注意が必要な物、例えば貴重品、壊れやすいもの、変質または腐敗しやすい物などについては、前もって知らせていなければ、荷物が破損や紛失した場合も運送業者の責任にはなりません。ですから、荷物の中身や配置場所、貴重品の有無については、あらかじめ業者に伝えておきましょう。

次に多い相談は、料金に関するトラブルです。引越し業者を利用する場合、見積り費用は無料ですから、数社から見積りをとって比較検討してから選ぶことが大切です。業者が決まったら、トラブルを避けるためにも必ず契約書を交わすようにしましょう。これらのことに気をつけて頼めば、より安心して引越しが行えるでしょう。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、
高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★「悔しいけれど仕事が好き」というコピーのCMがある。技能五輪メダリストの織田さんは、まさにそれを地で行くタイプ。「本当に？」と問うと「えっ！仕事好きじゃないんですか？」と逆に問い返されてしまった。仕事人間を賛美するようなあのCMがあまり好きではなかった僕だが、実際に立派な仕事をこなしているであろう人の前では、考えを改めざるを得なかった。(K)

★白い雪が静かに降り積もる街なみ。窓からながめる絵画のような風景は情緒あふれるものだが、この雪が生活に直結するなら「ロマンだけじゃメシは食えない」となるのが雪国の感情である。

ところで、最近暖冬続きで、生活苦となるほどの積雪を体験することも少なくなった。理由は色々言われているようだが、過ごしやすいのには確か。ただ、みるみる擦り減ってゆくスタッドレスタイヤだけが心配のタネだ。(N)

★先日、立山山麓スキー場でスキーを楽しんだ。しかし、滑走中に大転倒。こける事には慣れてはいたつもりだったが、その時、首を痛めてしまった。上手くもないのに飛ばしすぎたようだ。今年は絶対上手くなって華麗に滑れるようになるぞ！(Y)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真
を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18
センチ)でプレゼントします。希望される
方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込
みください。3月24日消印有効です。

氏名	富山市新総曲輪1-7
住所	富山県広報課
電話	写真プレゼント
本誌を読んだ感想	2月号係あて

二月

とやまの祭事記

「やすいさん」の占いはよく当たる

節分の星占い (安居寺^{せつぶんえ}節分会) 福野町



福野町安居^{やすい}にある安居寺^{あんこじ}。真言宗の古刹(古い由緒ある寺)として知られ、地元では「やすいさん」とも呼ばれ慕われている。また、ここで行われる節分会は星占いの説教があることで有名である。

星占いは真言宗の教典「宿曜経」を使って行われる。もともとは修行の日の選定に用いられていたものが、一般の吉凶をも占うようになったといわれる。

厄除けの護摩^{ごま}祈禱^{きとう}に続いて星占いが始まる。住職がユーモアを交えながら、その年の天候や農作物の状況、年代別の運勢などを説いていく。聞く人々の表情は真剣そのもの。中にはカセットテープに収める人や熱心にメモをとる人もいる。

星占いのあとは、四十二歳と六十一歳の厄年を迎えた男たちによって勢いよく福豆がまかれる。この豆はたくさん拾えばそれだけ幸せが多いとされており、それまでは静かに星占いに耳を傾けていた人たちが、ふるしきやコートを広げ、豆拾いに夢中になる。

占いは、古来より様々な仕方で人々に愛され、生活の中にとけ込んできた。「やすいさんの占いはよく当たる」とあって、安居寺の参道には長い列ができる。

(参考文献 富山の習俗)

近年、エネルギーの消費量はますます増加傾向にあり、地球温暖化や大気汚染などの環境問題が深刻化しています。
冬場は、暖房用をはじめとしてエネルギー需要が最も増大する季節。各家庭が工夫して、積極的に省エネに取り組んでいきましょう。

私たちの地球、 この子供たちの生きる星。

省資源・省エネルギー運動富山県民大会のお知らせ

日時 2月14日(火)

午後1時30分～4時

場所 マリエとやま7階「オルビス」

内容 記念講演

講師 ホームエコノミスト篠崎悦子

テーマ 「省エネルギー社会の構築に向けて」

問合せ 県庁県民生活課 ☎0764-44-3129



省エネは未来の子供へのおくりもの。

**冬の
省エネ
ポイント**

- ★お部屋の温度は20℃を目安に。
- ★暖房機器は効率のよいものを。
- ★新築・増改築の際は断熱建材を。